

## まちの話題募集中

～あなたがまちの特派員～  
あんなことやこんなこと、いま街角で一番輝いている話題をお知らせください。取材に伺います。  
問合せ：秘書課 ☎ 8701



### 下町ロケットのモデル 北条高生 ミニロケット打ち上げ

9月25日、北条高校で「下町ロケット」のモデルにもなった、㈱植松電機、植松努社長による講演会が開催されました。「思うは招く～夢があれば何でもできる～」というテーマで、夢を実現するための心構えについて語られ、生徒たちは真剣に耳を傾けました。また、10月20日には、同社支援の下、生徒たちが製作したミニロケットを夢や願いを込めて校庭で打ち上げました。



### 播州歌舞伎発祥 東高室で播磨農高生が熱演

播州歌舞伎発祥の地、北条町東高室の西福寺で播磨農業高校の郷土伝統文化継承クラブが、五穀豊穡を願う舞「寿式三番叟」を上演しました。東高室の伝統文化の継承と住民の交流を目的に西福寺の後藤太作住職が企画した歌舞伎上演に、地域住民だけでなく高齢者や子ども約100人が集まりました。



### 市の魅力発信 ドローン使ってPR動画作成

菅野愛空さん（北条東小6年）は、夏休みの自由研究で、ドローンを活用して加西市PR動画を作りました。「加西市の魅力をこの動画で伝え、加西市に興味を持ってもらい、多くの人に遊びに来てほしいから」と理由を明かしました。ドローンを飛ばして上空から撮影したり、映像に合わせて音楽を切り替えたりする作業が大変だそうです。「これからもPR動画を作って、加西市を発信していきたい」と意気込みを語りました。



### 課題抽出と魅力発見 北条高生 未来に続く探究活動

北条高校普通科2年生69名は、「加西ブランディング計画」をコンセプトに、24チームに分かれて加西市の課題や魅力を自分たちで発掘。その解決に向けて情報収集、整理、分析をしながら市内企業や事業者等を訪問し、協働して活動を進めています。成果は今年度3月にプレゼンテーションをして発表します。原田栞奈さんは「加西市の良さをたくさん発見することができて楽しく活動できています」と話しました。



### 秋の風情 sora かさいで茶会

加西市茶道協会が主催するお茶席がsora かさいで開催されました。今年、泉よつばこども園の園児たちが茶事に招いた参加者を接待。お琴の演奏を聞きながら270人が秋の夕べを楽しみました。また、sora かさいは夜間特別開館し、紫電改や九七式艦上攻撃機がライトアップされました。



### 土一七日屋台で農業体験ツアー

県と麒麟ビバレッジ(株)との連携による、「地産地消 おいしい食材宝庫 再発見キャンペーン」に当選した21名が、土一七日屋台で、大橋農園の黒枝豆「ひかり姫」の収穫や火起こし、餅つきなどの体験をしました。参加者は「枝豆は甘くておいしい」とにっこり。鹿肉を使ったカレーも振舞われ、大人も子どもも加西の食材を堪能しました。



### 手話は言語 国際デー ライトアップ

9月23日の『手話言語の国際デー』に県内56カ所でブルーライトアップされました。市内ではアステシアかさいでライトアップを行い、加西聴覚障害者協会と手話サークルどんぐりの皆さんが集まりました。『手話は言語』という認識が広まるようにと、皆さんの思いが一つになった日でした。



### 九会小昆虫採集 いきもの生活環境を学ぶ

九会小3年生が、あびき湿原保存会の協力で、学校近くのあぜ道で昆虫を採集し、あびき湿原との違いを比べました。昆虫は環境に合わせて棲み分けしていることや、益虫と害虫などについて教わりました。採集には北条高校生4名が手伝い、東後達也さん（北条高3年）は「小学生の頃にこのような機会があれば、地域の生物多様性に関心を持てる」と話しました。



### バケツ稲収穫と紙パック脱穀 賀茂小

賀茂小学校4年生は、賀茂地区ふるさと創造会議の協力で、バケツ稲の収穫を行いました。6月に植えた稲は、草取りや水あげをし、黄金色の稲穂をつけました。鎌を使って稲を刈り、牛乳パックで脱穀をしました。お米が取れる時のプチプチという音や手に残る感覚が新鮮な様子で、脱穀に夢中になっていました。



### フットサル大会 国をかけた熱戦

「第8回フットサルワールドカップ加西大会」が、8月26日に開催され、5カ国15チームの約120名が参加しました。各チームとも白熱した試合をしていましたが、雷雨に見舞われ試合は中断。9月16日に決勝トーナメントが行われました。優勝、準優勝ともベトナム勢が占め、大会は大いに盛り上がりました。

